

# 三洋貿易株式会社

## 2013年9月期第2四半期決算説明資料

2013年5月29日



# 目次

**第一部** 2013年9月期第2四半期連結決算実績

**第二部** 2013年9月期連結業績予想

**第三部** 中長期戦略

# 第一部

## 2013年9月期第2四半期連結決算実績



## 2013年9月期第2四半期 サマリー

- 前年同期比増収
- 第2四半期の純利益は過去最高益を達成
- 営業利益・経常利益は前年同期比減益
- 期末に集中していた経費平準化の為、四半期毎の引当金計上を開始
- 期初予想比では売上高は未達ながら利益は達成
- 上場により自己資本が増加し、連結自己資本比率は58.5%まで上昇
- 伊勢原工場が完成し、グリーンイノベーション拡大への第一歩を踏み出す

# 2013年9月期第2四半期 連結決算実績

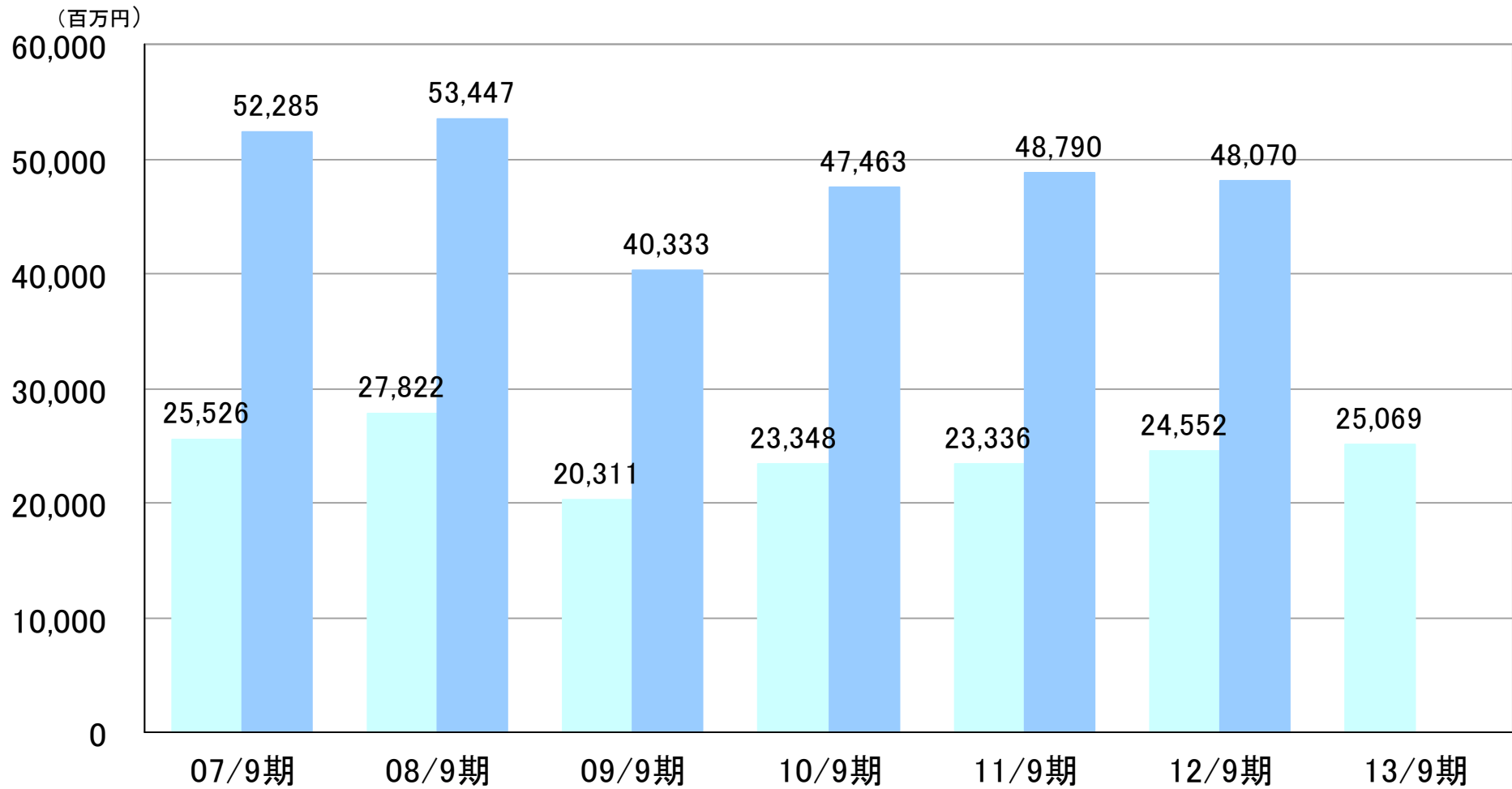
- 粗利率は16.3%から15.0%に低下
- 特損の発生はなく法人税減少により、当期純利益は過去最高益を達成

(単位:百万円)

	2012年9月期2Q			2013年9月期2Q		
	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	24,552	100.0	5.2	25,069	100.0	2.1
売上総利益	4,011	16.3	13.7	3,757	15.0	△6.3
販売費及び 一般管理費	2,503	10.2	7.2	2,593	10.3	3.6
営業利益	1,508	6.1	26.5	1,164	4.6	△22.8
経常利益	1,587	6.5	25.5	1,377	5.5	△13.2
四半期純利益	745	3.0	13.1	752	3.0	1.0

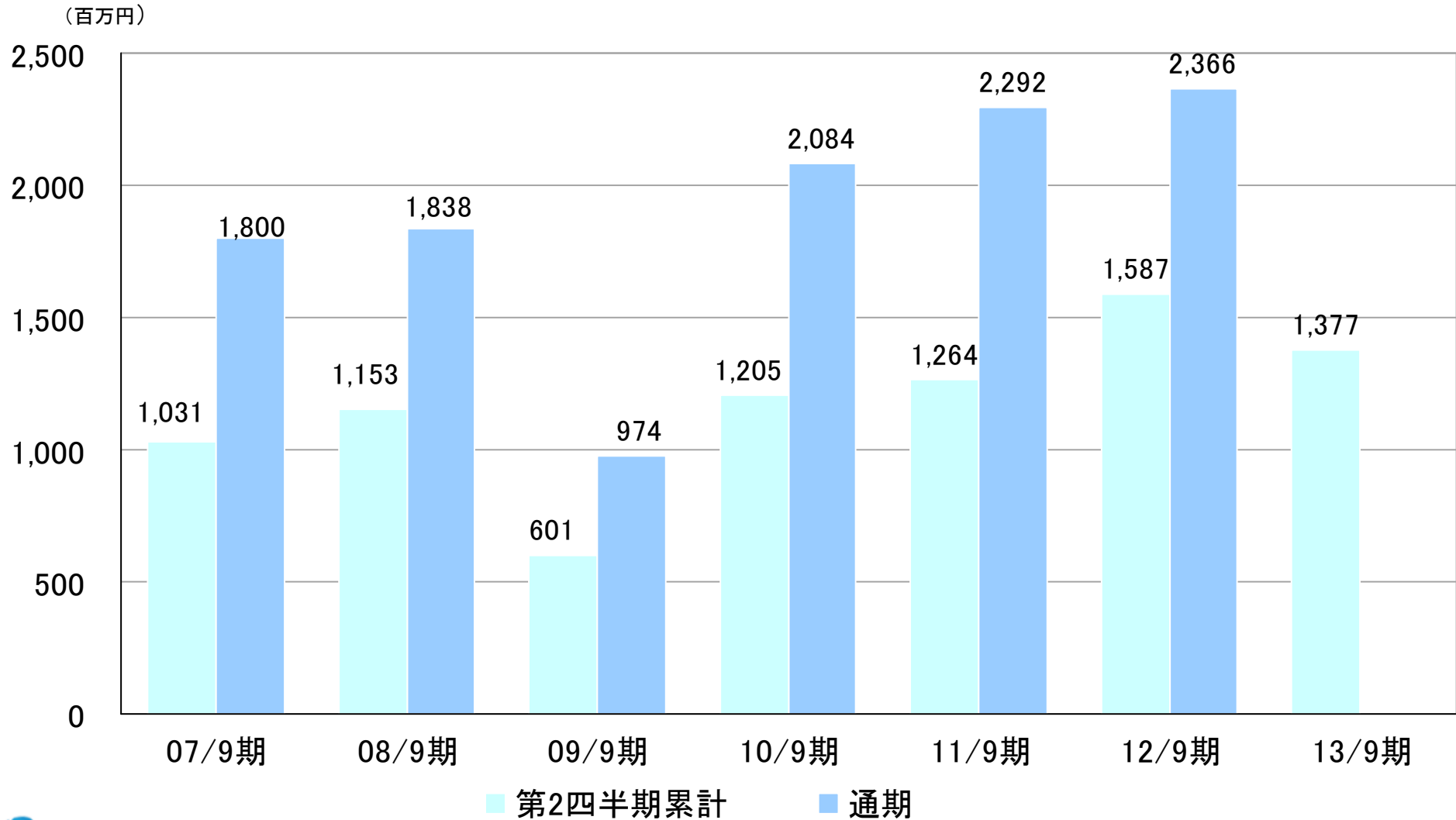
# 売上推移

- リーマンショック後、増加傾向



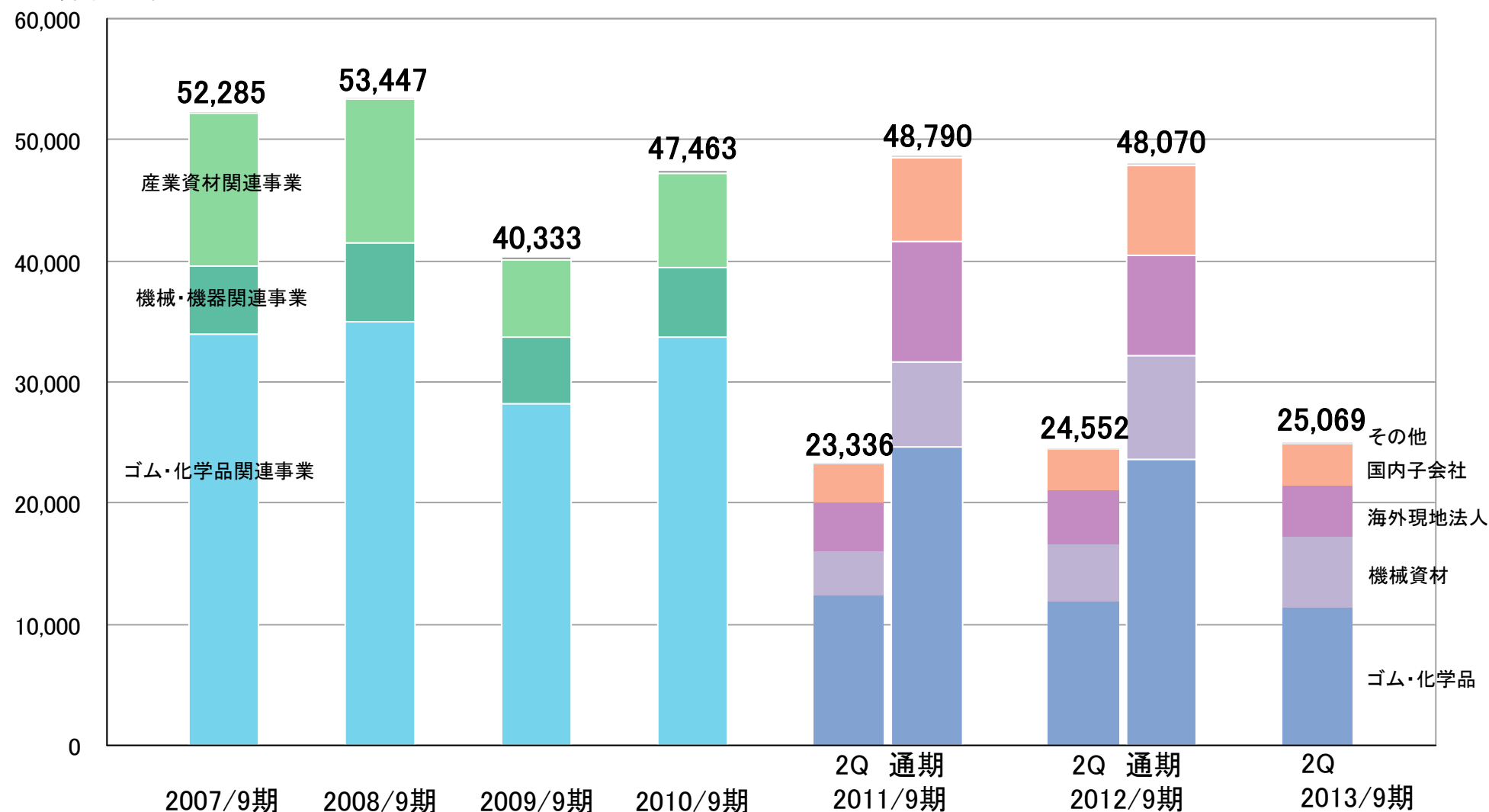
# 経常利益推移

- 経常利益は過去2番目の数字



# セグメント別売上推移

(売上高:百万円)

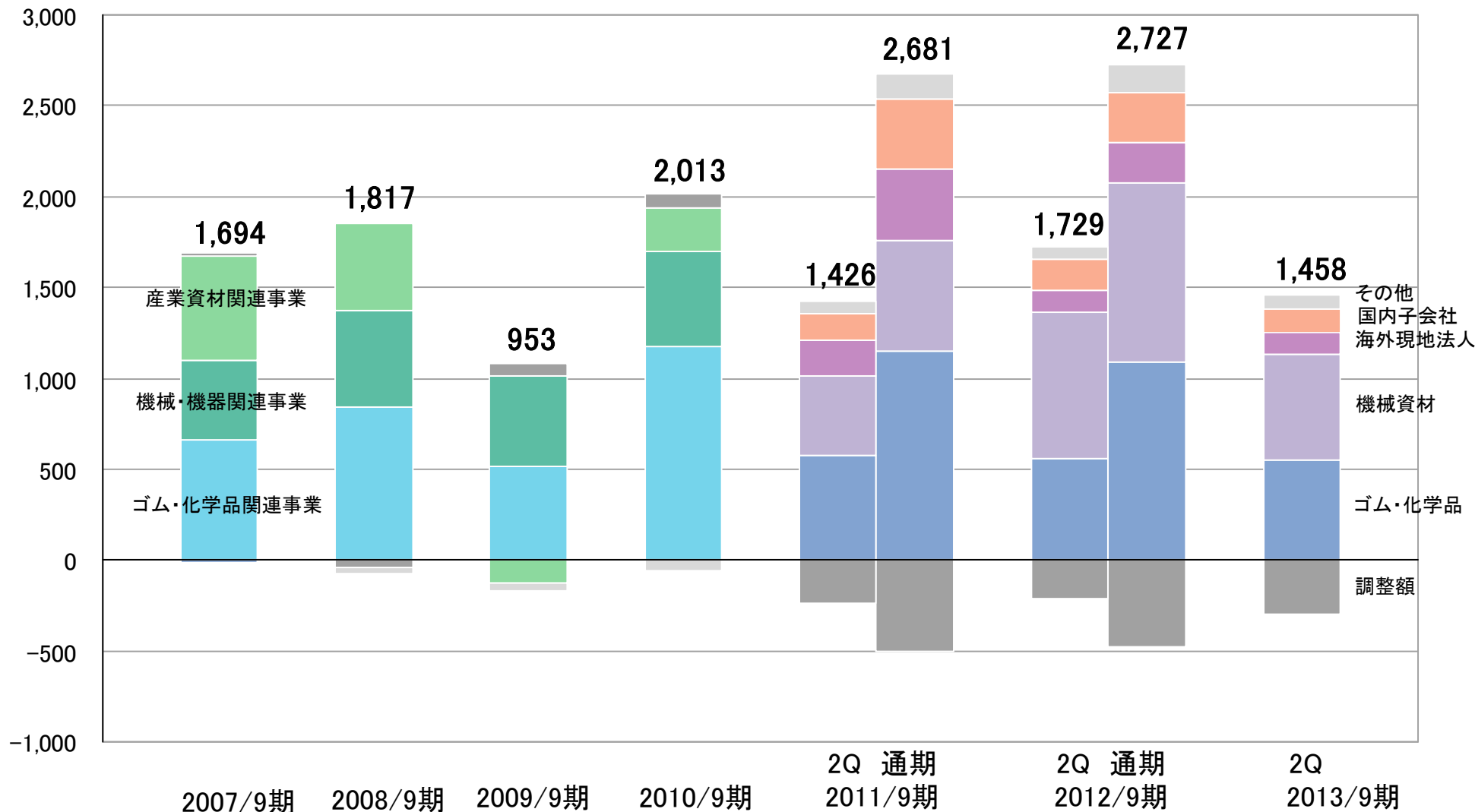


※2011年9月期よりセグメントを変更



# セグメント別利益推移

(営業利益: 百万円)



# 2013年9月期第2四半期 セグメント別売上・利益の変動要因

(単位:百万円)

	セグメント別売上実績				
	2012年9月期2Q		2013年9月期2Q		
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
ゴム・化学品	11,846	48.2	11,339	45.2	△4.3
機械資材	4,755	19.4	5,913	23.6	24.3
海外現地法人	4,459	18.2	4,217	16.8	△5.4
国内子会社	3,377	13.8	3,487	13.9	3.3
その他(調整額含む)	113	0.4	110	0.5	△2.7
合計	24,552	100.0	25,069	100.0	2.1

(単位:百万円)

	セグメント別利益実績		
	2012年9月期2Q		2013年9月期2Q
	金額	金額	前期比増減率 (%)
ゴム・化学品	556	551	△0.9
機械資材	805	581	△27.9
海外現地法人	119	117	△2.0
国内子会社	171	132	△22.7
その他	76	76	0.6

## 変動要因

- ゴム・化学品: ゴム関連商品は、家電・情報機器関連向け合成ゴムや副資材などが低調に推移。後半は自動車関連業界向け副資材を中心に徐々に回復。化学品関連商品は、主力の塗料、インキ、建材関連向け添加剤や樹脂が堅調のほか、可塑性輸入も好調。セラミック、皮革関連向け商材は低調に推移
- 機械資材: 機械・資材関連商品では、主力のペレットミルは検収の遅れもあって低調に推移。接着剤関連も飲料用途向けの不振により低調。産業資材関連商品では、自動車用皮革、シートヒーター、ランバーサポート等の機能部品が好調に推移。科学機器関連商品では、摩擦・摩耗試験機、質量分析器、耐候試験機などが好調に推移
- 海外現地法人: Sanyo Corporation of Americaは、主力の工業用フィルムが市況軟化を受け低調に推移し、吸水性樹脂や自動車用シート機能部品の堅調でもカバーできず。三洋物産貿易(上海)有限公司は自動車関連商品を中心に低調に推移したが、後半になって徐々に回復。San-Thap International Co., Ltd.(タイ)は、主力のゴム関連商品の好調に加え、自動車部品関連商品が伸張
- 国内子会社: コスモス商事(株)は地熱および石油・ガス関連分野での掘削用機材レンタルが好調に推移。(株)ケムインターも韓国向け液晶・半導体関連商品が堅調に推移。アロマン(株)は半導体業界の不振を受け業績は低迷

# 2013年9月期第2四半期 地域別売上の変動要因

(単位:百万円)

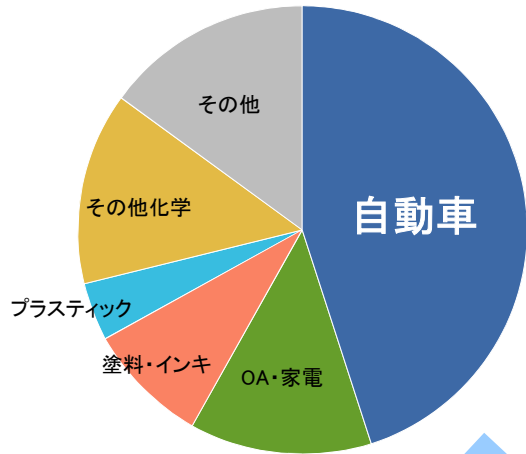
	地域別実績		
	2013年9月期2Q		
	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)
日本	16,365	65.3	0.9
中国	2,129	8.5	△16.6
アメリカ	2,587	10.3	10.2
その他	3,986	15.9	16.1
合計	25,069	100.0	2.1

## 変動要因

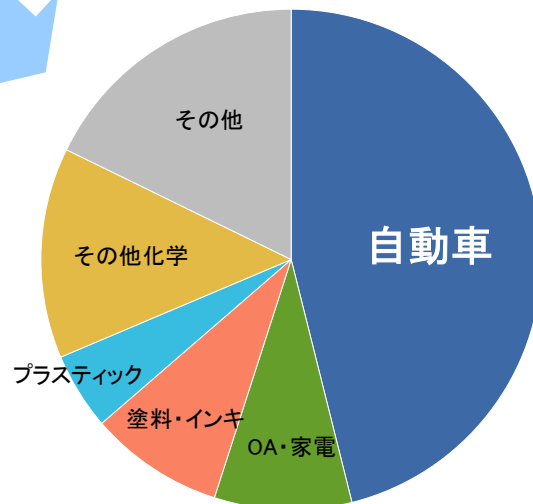
- 日本 : 自動車用機能部品や各種分析機器が好調  
家電・情報機器向けは低調
- 中国 : 自動車関連商売が低調
- アメリカ : 吸水性樹脂や自動車機能部品は堅調  
汎用フィルムは低調
- その他 : タイはゴム関連を中心に好調

# 業界別・販売先別・売上構成比の変化

2012年9月期



2013年9月期2Q



主な販売先(単体ベース)

トヨタ自動車

トヨタ紡織

LIXIL

東海ゴム工業

横浜ゴム

日本発条

KYB

藤倉ゴム工業

東洋エアゾール

ブリヂストン

# 2013年9月期第2四半期 連結貸借対照表①

(単位:百万円)

	2012年9月期	2013年9月期 2Q	増減額	増減要因
流動資産	18,740	19,179	438	
現金及び預金	1,739	2,207	467	
受取手形及び売掛金	11,674	11,673	△0	
たな卸資産	4,675	4,655	△20	
その他流動資産	651	642	△9	
固定資産	4,464	5,199	735	
有形固定資産	2,065	2,257	191	三洋機械工業伊勢原工場完成
無形固定資産	231	190	△41	
投資その他の資産	2,167	2,752	584	
投資有価証券	1,423	2,059	636	保有有価証券の時価上昇
資産合計	23,204	24,379	1,174	

## 2013年9月期第2四半期 連結貸借対照表②

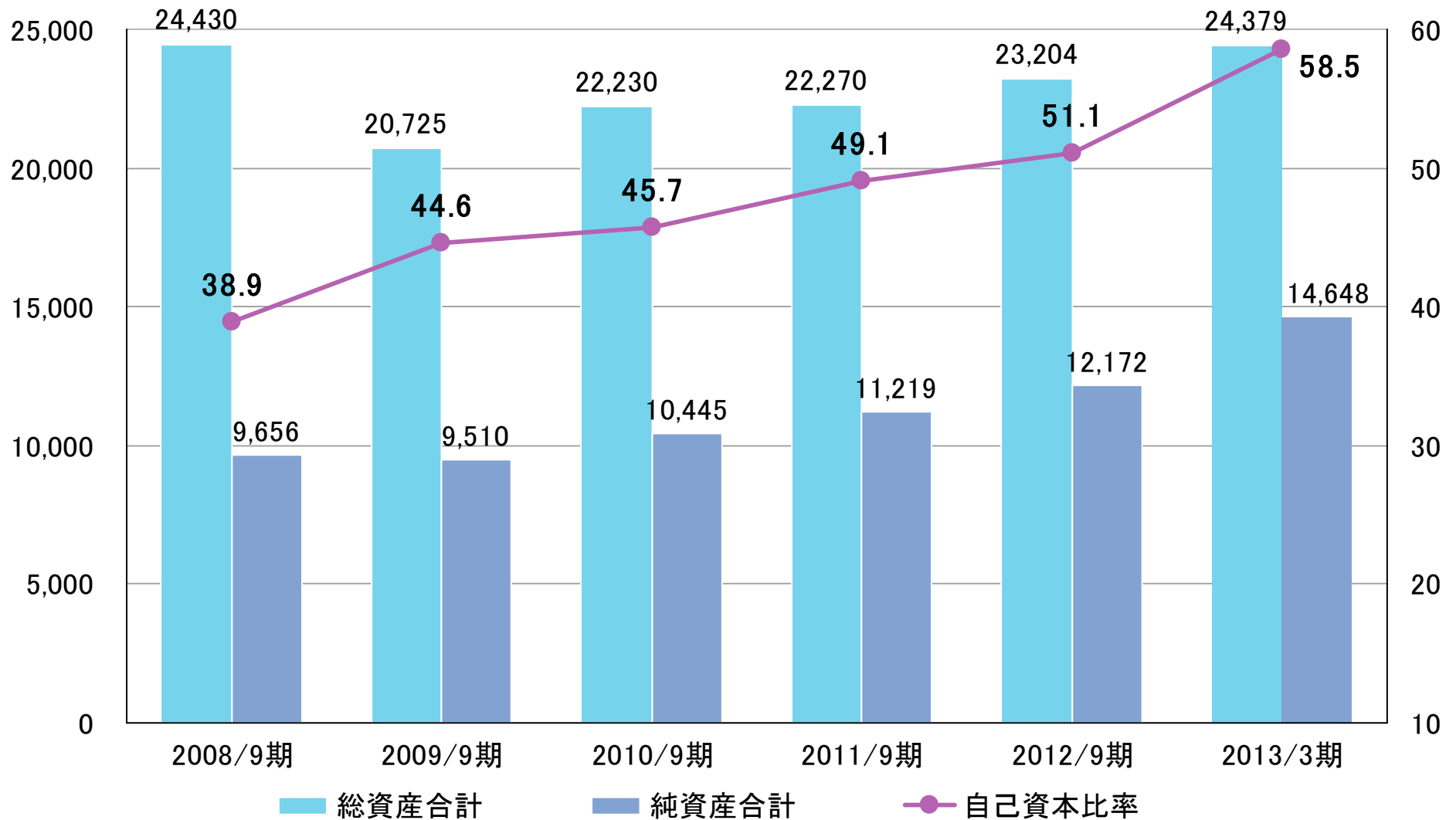
(単位:百万円)

	2012年9月期	2013年9月期 2Q	増減額	増減要因
流動負債	10,014	8,649	△1,365	
支払手形及び買掛金	6,181	6,306	125	
借入金	2,467	1,128	△1,339	銀行借入返済
その他流動負債	1,366	1,214	△152	
固定負債	1,017	1,081	64	
長期借入金	50	50	0	
その他固定負債	967	1,031	64	
負債合計	11,032	9,730	△1,301	
株主資本	12,084	13,838	1,754	新株発行
その他の包括利益累計額	△221	416	638	
少数株主持分	310	393	83	
純資産合計	12,172	14,648	2,475	
負債純資産合計	23,204	24,379	1,174	

# 自己資本比率の推移

(総資産合計・純資産合計:百万円)

(自己資本比率:%)



注: 自己資本比率 = (純資産合計 - 少数株主持分) / 総資産合計

# 2013年9月期第2四半期 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2012年9月期2Q	2013年9月期2Q	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△320	1,043	1,364	売上債権減少+棚卸資産減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105	△248	△142	三洋機械工業伊勢原工場建設△257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378	△392	△13	新株式発行・自己株売却1,280 銀行借入金返済△1,353
現金および現金同等物の増減額	△777	481	1,258	
現金および現金同等物の期首残高	2,297	1,721	△576	
現金および現金同等物の期末残高	1,520	2,203	683	



# 第二部

## 2013年9月期業績予想



## 2013年9月期 業界環境と具体的施策

- 自動車業界
  - 中国日系自動車メーカーも回復し、グローバルでも堅調に推移すると想定
  - タイ・インド・ベトナム等で一層の伸張を図る
- ゴム関連業界
  - 上半期低調に終わった家電・情報機器関連は輸出を中心に緩やかな回復を見込む
  - タイヤ関連原材料も徐々に回復しており、下半期の巻き返しを図る
- 化学品関連業界
  - 塗料・インキ業界は現状レベルで推移するものと想定
  - 医薬中間体や高機能フィルムなどニッチ商材での業容拡大を図る
- 新規商材
  - 生活関連 : 医薬中間体、医療用関連資材、バイオ・食品検査機器
  - 環境関連 : 太陽光発電関連資材、環境対応型各種ケミカル
  - 資源エネルギー : 木質バイオマス、地熱・海洋資源開発用機材

# 2013年9月期 連結業績予想

- 過去最高益更新の見込み

(単位: 百万円)

	実績			予想		
	2012年9月期			2013年9月期		
	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	48,070	100.0	△1.5	53,562	100.0	11.4
売上総利益	7,460	15.5	1.9	7,833	14.6	5.0
販売費及び 一般管理費	5,211	10.8	1.5	5,540	10.3	6.3
営業利益	2,249	4.7	3.1	2,293	4.3	2.0
経常利益	2,366	4.9	3.2	2,399	4.5	1.4
当期純利益	1,137	2.4	11.5	1,299	2.4	14.3

## 2013年9月期 セグメント別売上予想

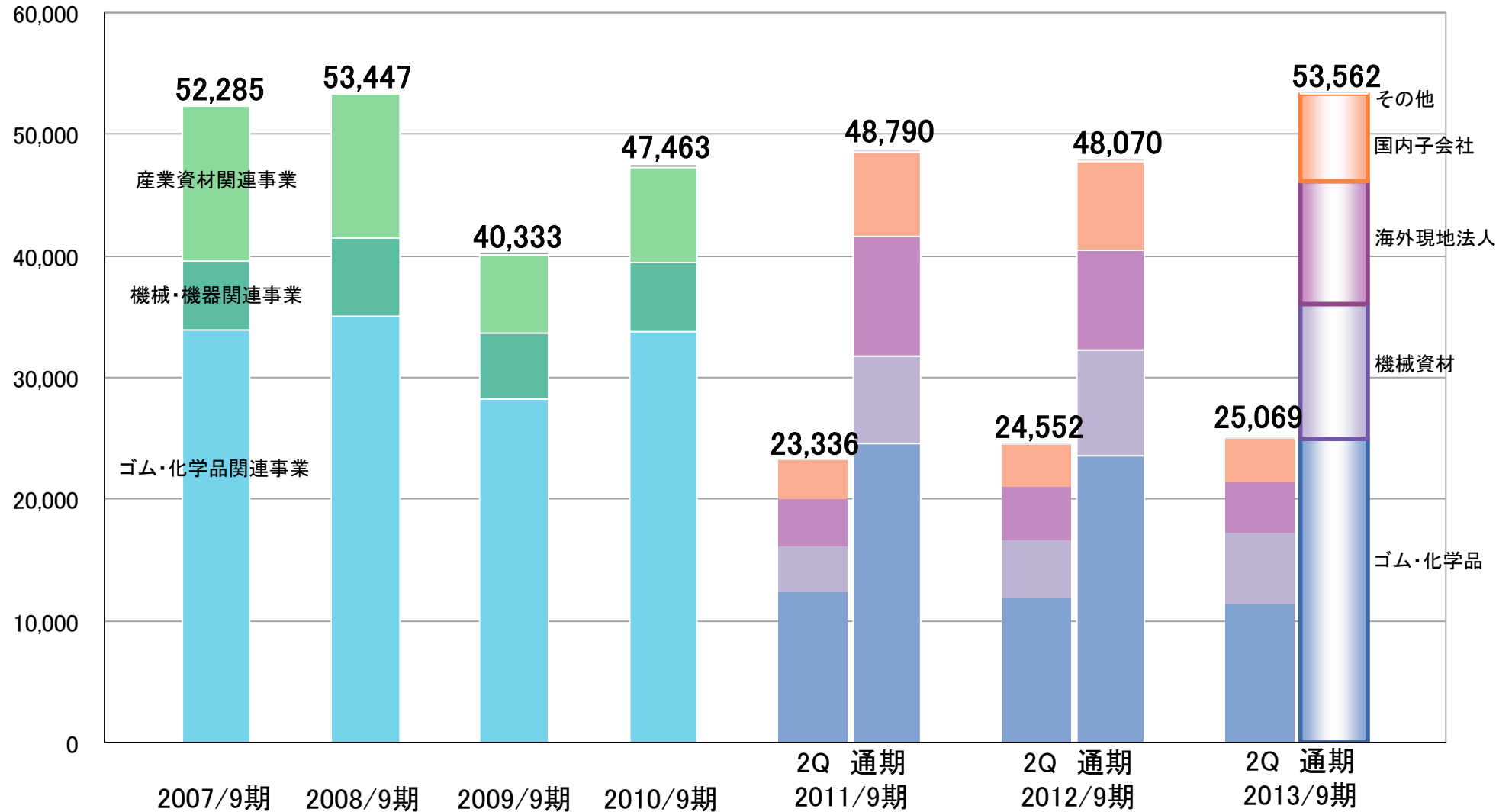
- 機械資材や海外現法の伸張を見込む
- 国内子会社は微減傾向

(単位:百万円)

	実績			予想		
	2012年9月期			2013年9月期		
	金額	構成比(%)	伸び率(%)	金額	構成比(%)	伸び率(%)
ゴム・化学品	23,594	49.1	△4.1	24,924	46.5	5.6
機械資材	8,634	18.0	21.4	11,180	20.9	29.5
海外現地法人	8,208	17.1	△16.9	10,079	18.8	22.8
国内子会社	7,391	15.4	6.4	7,146	13.3	△3.3
その他	241	0.4	△0.9	233	0.4	△3.3
合計	48,070	100.0	△1.5	53,562	100.0	11.4

# セグメント別売上推移(実績および予想)

(売上高:百万円)



※2011年9月期よりセグメントを変更

# 株主還元

## 配当方針

- 連結配当性向25%を下限の目処
- 当期より中間配当制度を導入

## 1株あたり配当金予想

	2Q末	4Q末	合計	連結配当性向
2013年9月期	15円 (内、5円は 上場記念配当)	15円	30円	33%

# 第三部 中長期戦略



# 今後の中長期的事業戦略

## 守りから攻めの経営へチェンジ

### 背景

- 「選択と集中」から、「収益基盤の拡大」と「新規事業分野への積極的参入」による「事業ポートフォリオの拡充」

### 基本方針

- 生活・環境・資源エネルギー関連分野での新規商材の開発促進およびグローバル展開の加速



# 中期経営計画

## 成長1 生活関連

### 取組み

- 医薬・医療関連商材

### 今後の展開

- 米国アセト社との連携強化による医薬中間体商売の拡大と医薬原体(API)商売の開拓
- 食品・バイオ関連向け各種分析機器の拡販
- 医療関連資材用原材料の拡販

# 中期経営計画

## 成長2 環境・資源エネルギー関連

### 取組み

- 木質ペレットミル
- 資源エネルギー
- 太陽光発電

### 今後の展開

- 三洋機械工業伊勢原新工場のペレットミルテストプラントの有効利用
- 石油・海洋資源掘削・探査用機材や地熱発電関連機材の拡販
- 太陽光発電モジュール用素材の開拓

# 中期経営計画

## 海外展開

### 海外チャンネル強化

- 2012年のインド、香港に続き2013年中にメキシコ現地法人設立を予定、中南米進出拠点に
- タイ拠点をハブとしてインドネシアなど新たなアセアン域内への進出を検討

### 今後の展開

- 自動車関連商材を中心としてグローバル展開を加速
- 海外拠点間のビジネス促進

# 中期経営計画

## M&A

### M&A

- 新規事業分野への進出
- 既存事業とのシナジー
- 人材確保
- グローバル展開の一環

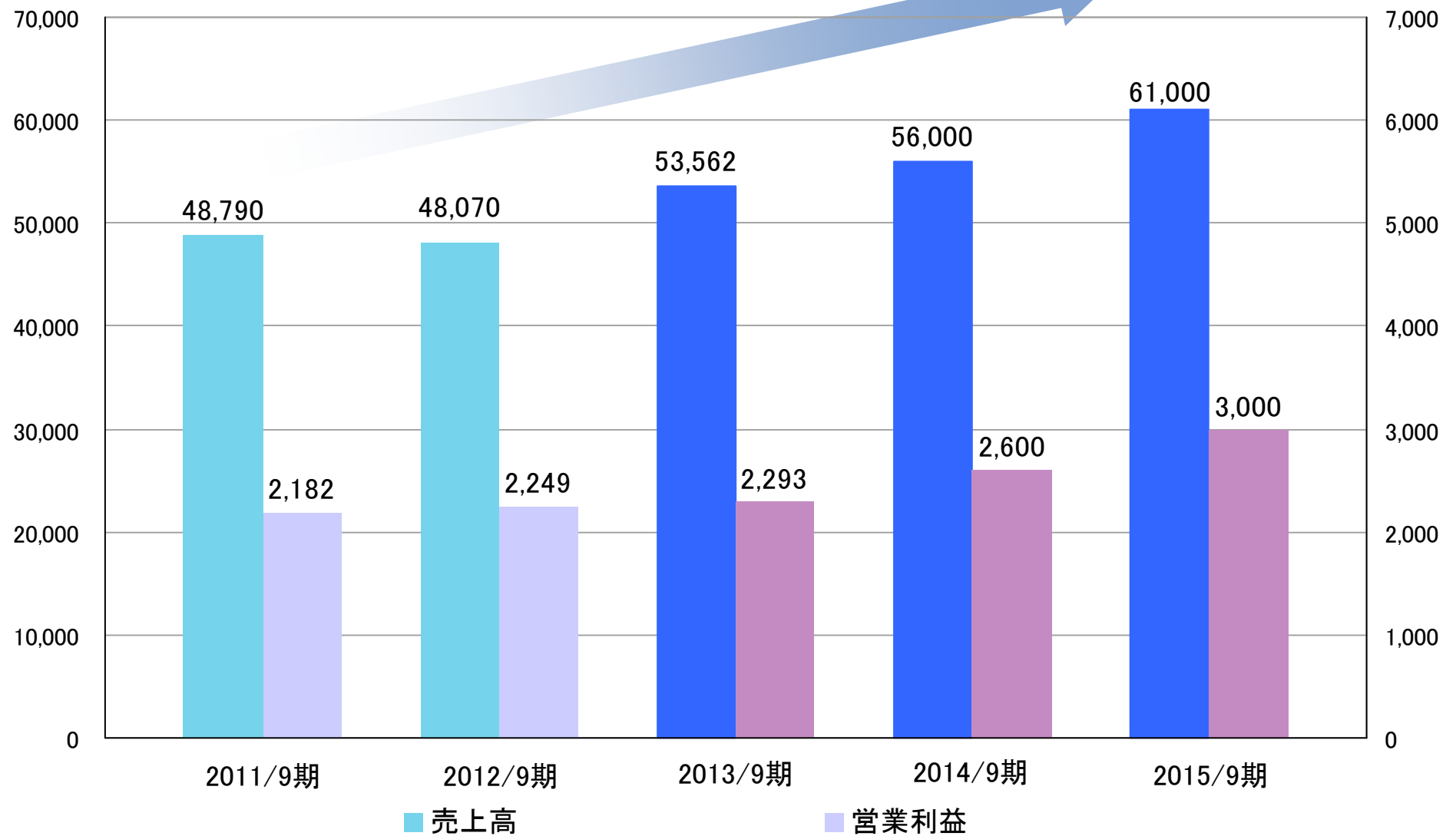
### 方向性

- 生活関連分野
- 環境関連分野
- 資源エネルギー関連分野

# 中期経営計画

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)



# ご清聴ありがとうございます

## IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 経営企画室長 白井浩

電話:03-3518-1101 e-mail:ir@sanyo-trading.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。